

放課後子ども教室だよ

まゆみ遊友クラブ訪問

令和2年12月3日(木)訪問

○開設年度	平成20年	○参加者	対象学年：1～2年生
○活動場所	本宮市立本宮まゆみ小学校	○登録スタッフ	登録児童数：14名
○実施回数	20回	○登録スタッフ	16名 ※安全管理員・活動指導員の兼務
○実施時間	4時間 木曜日 (12:30～16:30)	○活動内容	工作や折り紙などの造形活動 キンボール おはなし会 季節行事等

難しくてもチャレンジするぞ!

まゆみ遊友クラブは、本宮まゆみ小学校の和室とランチルームを利用して活動を行っています。学校の中で開催しているので、校長先生や担任の先生などが子どもたちに声をかけてくださるそうです。

「ぞうきんづくり」は、まゆみ遊友クラブが立ち上がった時から、継続して行われてきたプログラムです。難しい作業ではありますが、どの子どもも集中して取り組んでおり、できあがった作品はどれも低学年の子どもたちが作ったとは思えないほど上手でした。

製作過程を見ていると、子どもたちの作品づくりをサポートするための工夫や配慮が随所に見られました。まず、ししゅう針を使い、糸も太いものを使用することで、子どもたちが縫いやすいようにしていました。また、子どもたちのフォローをスタッフがきめ細やかにいき、縫い方が難しいところは少しだけ手伝ってあげていました。

ぞうきんの真ん中の部分に、自分が好きなキャラクターなどの絵を描き、その輪郭をなぞって縫うようにして作ります。糸の色も自分が好きなように選べるので、子どもたちは絵を描くような気持ちでぞうきんを縫っていました。

できあがった作品を嬉しそうにスタッフに見せに来てくれた子どもたちは、達成感や満足感にあふれた表情をしていました。

子どもたちを温かく見守るコーディネーターやスタッフの笑顔も印象的でした。



自己管理できる力も育てています

子どもたちが使うししゅう針は、一人分ずつフェルト布に刺し、名前を明記して管理しています。子どもたちは、活動前にコーディネーターからししゅう針を借りて作品を作り、終わったら布に針を刺した状態で返却します。

コーディネーターの鈴木さんは、「活動を通して、子どもたちに自己管理できる力を身につけさせたい」とおっしゃっていました。



コロナ禍における活動のヒント

新型コロナウイルス感染症予防策として、子どもたちとスタッフの手指消毒と検温、手洗い、マスク着用を徹底しています。また、活動の前後にスタッフがランチルームやテーブルの消毒を入念に行っています。

まゆみ遊友クラブでは、スタッフの行動手順や、検温・手指消毒の仕方を可視化することで、感染症対策への意識を高めて確実に行うことができるようにしています。

